

# 山形県感染症発生動向調査

平成28年第26週(6月27日~7月3日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所) TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486 URL http://www.eiken.yamagata.jp/ 2016年7月5日 発行

# <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※完占当たり報告数が ▲	:2週連続増加、△:今週増加、	▼・2调連続減小 ▽	△周減小 ※	:警報レベル	:注意報レベル
☆にはヨたり取り致か、■		▼ . <b>4 J</b> 型 Jモ NOL NOL 'シ 、 ∨ .	. フ.旭ルツ 🌣	・三型レン	・江思報レンリ

※正点当たり報告数が	)、▲:2週	<b>建</b> 続增	別、△∶≦	↑週増ル	加、▼:2週連続減少、▽			∵ 今週減少 ※			: 警報レベル						
, 疾患名	全国		山形県		-	寸山地図	<u>z</u>	_	<b>是上地</b> 区		_	置賜地區		,	E内地区	<u> </u>	累積(県)
	第25週	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第1~26週
インフルエンザ定点 (定点	医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)		
インフルエンザ	173 0.04		1 0.02	Δ		1 0.05	Δ										13928
<b>小児科定点</b> (定点图	医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)		
RSウイルス感染症	366 0.12																45
 咽頭結膜熱	2200	35 1.17	36 1.20	Δ	22 1.69	22 1.69		3 1.00	4 1.33	Δ	7 1.17	8 1.33	Δ	3 0.38	2 0.25	▽	488
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8658	118	146	Δ	79	100	<b>A</b>	1.00	3	Δ	26	32	Δ	13	11	▼	4457
感染性胃腸炎	2.75 17081	3.93 150	131	<b>V</b>	6.08	67	Δ		1.00 9	Δ	4.33	5.33 37	<b>V</b>	1.63 46	1.38 18	<b>V</b>	5771
水痘	5.42 1390	5.00 9	4.37 9		4.85 5	5.15 2			3.00		6.83	6.17 2	Δ	5.75 4	2.25 5	Δ	297
	0.44 1288	0.30	0.30		0.38	0.15						0.33		0.50	0.63 2		
手足口病	0.41 1384	0.03	0.07 25	Δ	14	14		6	2		5	2		0.13 5	0.25 7		29
伝染性紅斑 	0.44	1.00	0.83	∇	1.08			2.00	0.67	∇	0.83	0.33	▼	0.63	0.88	<b>A</b>	1340
突発性発しん 	0.62	0.77	0.63	∇	0.46	•	<b>A</b>	1.33		∇	1.00	-	Δ	0.88	0.50	∇	500
百日咳	0.03	0.07	0.03	∇	0.08		▽				0.17	0.17					10
ヘルパンギーナ	4661 1.48	2 0.07	4 0.13	Δ	0.08	0.08			1 0.33	Δ	0.17	0.17			1 0.13	Δ	18
流行性耳下腺炎	3554 1.13	67 2.23	59 1.97	▼	0.46	7 0.54	<b>A</b>	1.33	7 2.33	Δ	50 8.33	7.00	▼	7 0.88	3 0.38	$\nabla$	1709
眼科定点 (定点医	療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)		
急性出血性結膜炎	3 0																
流行性角結膜炎	558 0.81	1 0.13		∇										1 0.50		▽	30
<b>基幹定点</b> (定点医	療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	41 0.09																10
クラミジア肺炎	5 0.01																4
マイコプラズマ肺炎	332 0.7	0.30	4 0.40	<b>A</b>	2 0.50	2 0.50								0.33	2 0.67	<b>A</b>	56
細菌性髄膜炎	12 0.03																2
無菌性髄膜炎	24 0.05																4

## <全数把握感染症>

疾患名	類型		報行	告数		備考
	類空	村山	最上	置賜	庄内	<b>1</b> 開行
結核	患者	3			1	
<b>福</b> 核	無症状病原体保有者				2	
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	1				肺炎球菌ワクチン接種歴3回有り。
梅毒	患者			1		

<通信欄)	>
-------	---

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

#### <定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	
インフルエンザ									1						
	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79	80歳~									合計
															1
小児科定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳~	合計
RSウイルス感染症															
咽頭結膜熱		7	12	5	7	2	1	1			1				36
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			8	9	16	22	13	14	11	19	8	23	2	1	146
感染性胃腸炎	4	8	20	8	17	10	13	10	6	5	4	22	2	2	131
水痘			1		1	2	1	2	2						9
手足口病					1	1									2
伝染性紅斑		1		3	2	4	2	2	2	5	3	1			25
突発性発しん		6	12	1											19
百日咳										1					1
ヘルパンギーナ		1	2	1											4
流行性耳下腺炎			4	3	11	7	15	4	5	2	2	4		2	59

#### < 平成28年5月 月報 >

### 2016年6月14日 作成

<b>~ 十成20年9万 万報 ~</b> 2010年0万1年日   F/以												1 - 1 / / /
疾患名		山	<b>衫県</b>	村山	地区	最上	.地区	置賜	地区	庄内	累積(県)	
		4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	1~5月
STD定点 (定点医療機関数)		(1	10)	(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	18	24	4	5	12	14	2	3		2	97
圧砕ノノミノノ心未止	定点当り	1.80	2.40	1.00	1.25	12.00	14.00	1.00	1.50		0.67	31
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	9	9	3	3	1	2	3	2	2	2	30
	定点当り	0.90	0.90	0.75	0.75	1.00	2.00	1.50	1.00	0.67	0.67	30
尖圭コンジローマ	報告数	1	3		3					1		15
大王コンノローマ	定点当り	0.10	0.30		0.75					0.33		
淋菌感染症	報告数		5		1				2		2	9
<b>M</b> 图芯末址	定点当り		0.50		0.25				1.00		0.67	9
<b>基幹定点</b> (定点医	療機関数)	(1	10)	(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性	報告数	11	4					1	1	10	3	33
肺炎球菌感染症	定点当り	1.10	0.40					0.50	0.50	3.33	1.00	33
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数	16	16	7	5	2	1		3	7	7	94
	定点当り	1.60	1.60	1.75	1.25	2.00	1.00		1.50	2.33	2.33	] 34
<b>薬剤耐性</b> 紀膿菌威染症	報告数											
薬剤耐性緑膿菌感染症	定点当り											

## <トピックス>

# 【腸管出血性大腸菌感染症情報】

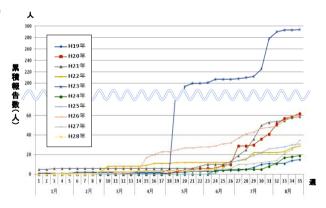
腸管出血性大腸菌感染症の発生報告が、全国的に増加しています。 今週の山形県の発生報告はありませんが、例年夏季に多く発生しますので 今後注意が必要です。

## 症状·

通常2~7日(平均3~5日)の潜伏期間をおいて、以下のような症状が現れます。

- 激しい腹痛、頻回の水様便、血便
- 発熱は軽度で多くは37℃台
- 重症化すると重篤な合併症を起こすこともある

### 腸管出血性大腸菌感染症の累積報告数(山形県)



\*H23年は、5月に大規模な食中毒事件が発生したため報告数が増加した。

# 予防方法

感染力が強く、わずか50個程度の少量の菌で感染するため、注意が必要です。 以下のような方法で予防します。

- ・特にトイレの後、調理・食事前・動物に触れた後の手洗いの励行
- ・食品を衛生的に取扱い、十分な加熱(食品の中心部まで75°C、1分以上)を行う
- ・手は石けんで、調理器具は洗剤と流水で十分洗い、まな板、包丁、食器類は熱 湯等で十分消毒する

